

平成21年度第2回射水市上下水道事業経営委員会議事録（要旨）

日 時：平成22年2月26日（金）

・午後1時40分～午後3時 現地視察（広上取水場、片口雨水ポンプ場）

・午後1時30分～午後3時30分 委員会

場 所：射水市役所布目庁舎 3階301号室

議 事：1 平成21年度水需要の動向について

2 平成21年度上下水道部主要事業の進捗状況について

【 意 見 】	【 市の考え方 】
【下水道事業の長寿命化計画に関すること。】	
<p>桜町処理区（旧新湊地区）について、全てを神通川左岸流域下水道に接続し処理を行っているが、それが原因となり管路の逆勾配等の問題が発生しているのではないか。</p> <p>また、太閤山処理区（旧小杉地区）については、今後調査とあるが調査後の予定はどのようなになっているのか。</p>	<p>桜町処理区については、処理区域が軟弱地盤であるため布設管の沈み込み等、問題が発生しやすい状況にある。元来、管路の整備を優先的に行ってきたおり、今回の長寿命化計画において、その問題等を解消しようとするものである。</p> <p>太閤山処理区については、以前から管更生事業を実施してきており面整備が進んでいる状況である。今後は、長寿命化計画に基づき事業完了箇所から、順次神通川左岸流域下水道に接続していく予定である。</p>
【上下水道事業の経営健全化に関すること。】	
<p>国の事業仕分けにおいて、下水道事業が圧縮されると予想されるが、射水市においては、どのような影響があるのか伺いたい。</p>	<p>下水道事業については、国の事業仕分けにより未普及対策関係経費が圧縮された。しかしながら、射水市においては事業完了間近であること、及び今後は浸水対策が主要事業となることから、影響は少ないものと考えます。</p>
<p>平成22年度から下水道事業に係る国庫補助金が交付金となると聞かすが、そのことにより事業運営においてどのような影響があるのか伺いたい。</p>	<p>また、ご指摘のとおり、平成22年度から都市・地域整備局所管国庫補助金は、都市整備事業全体（道路や都市計画、及び下水道等）に対して交付されることとなるが、交付金となっても補助要綱は存在しており、事業ごとに計画書を策定する必要があることからその内訳が明確化されるものであり、影響は少ないものと考えます。</p>
<p>昨今、建設業界が非常に厳しい状況にある。できるものでできないもの問わず、できる限り地元業者を活用し、地域経済の活性化に努めてもらいたい。</p>	<p>また、ご指摘のとおり、平成22年度から都市・地域整備局所管国庫補助金は、都市整備事業全体（道路や都市計画、及び下水道等）に対して交付されることとなるが、交付金となっても補助要綱は存在しており、事業ごとに計画書を策定する必要があることからその内訳が明確化されるものであり、影響は少ないものと考えます。</p>

【現地視察】※広上取水場



【委員会】

